

最後まで輝いて…

(道徳)

対象：中学生以上

- 1 主題名 お年寄りと共に生きる
内容項目 「家族愛、家族生活の充実」
- 2 資料名 「最後まで輝いて…」(『あけぼの 人間に光あれ』※) ※以下『あけぼの』と表記
- 3 本時の主眼
地域の福祉介護施設でお年寄りとの交流活動を行った生徒が、資料「最後まで輝いて(あけぼの)」を読み、「私」の「心臓が破裂するような衝撃」を受けた理由を考えることを通して、曾祖父が家族の幸せを願い、役立ちたいと思っていたことに気づき、「お年寄りと共に生きる」とはどうすることか考えを深めることができる。
- 4 本時の位置(総合的な学習の時間とのつながり)
○ 前時：小グループに分かれ、お年寄りとの交流を福祉介護施設で行った。
○ 次時：前回の交流活動の振り返りや、あらたに気づいた「お年寄りと共に生きる」ことを交流にいかして次回の交流活動を考える。
- 5 人権教育の視点
○ ふるさとの現状(高齢社会)や、高齢者の方たちの生活、望んでいること、介護・福祉の課題を知る。(知識)
○ 高齢者の方の心情を共感的にとらえながら受け入れていこうとすることができる。(技能)
○ 高齢者の方の生き方に対する尊敬の心を持ち、共に生きようとすると同時に自分のまわりの人とも同様に接する良さが分かる。(価値・態度)
- 6 指導上の留意点
○ 「最後まで輝いて」の内容が分かりやすいように難しい言葉は解説を加えながらゆっくり、読む。
○ 自分に引き寄せて考えられるように、導入や終末では総合的な学習の時間における「地域の高齢者との交流活動」との関連付けを図る。
- 7 展 開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	指導・助言・ 評価	時	備考
導入	1 今までのお年寄りとのかわり方を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> ・動くことや話を聞くこと、見ることが大変な方もいる。 ・大切にしなければいけないと思う。 ・ちょっとめんどろに感じる時もある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 2040年の65歳以上人口の占める割合 長野県 38.4% (「日本の地域別将来推計人口」 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月推計より) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りのことをどのように捉えているか問う。 ・交流活動での様子も振り返らせる。 ・高齢化率の資料を示し、これからはお年寄りが必ず側にいて共に生きていく社会になるということを伝える。 	5	
展開	2 資料の前半を読み、私が「いつも憤りを感じていた。」理由やそのことをどう思うかグループで話し合	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 「資料『最後まで輝いて…』を読んで、お年寄りと共に生きることを考えよう。」 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・怒鳴り、殴りかかろうとするから仕方がない。 ・気遣う家族に対しても反省や感謝の気持ちなどまったく感じられなから、憤ってしまうのも分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「最後まで輝いて…」の前半を読む。 ・「私」が曾祖父に憤りを感じていたことをどう思うか問う。 	10	資料「最後まで輝いて」あけぼのP39

<p>う。</p> <p>3 後半部分を聞き、心臓が破裂するような衝撃を受けた理由を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの介護って大変だな。 ・おじいちゃん、おばあちゃんがかわいそうだな。 ・自分だってそう感じると思う。 ・うちのおばあちゃん、だんだん、耳が遠くなってきて、話がうまく伝わらないことがあるよ。 ・うちのおじいちゃんも…だったことがある。 ・寝たきりのおばあちゃんがいるけど、父や母は大変そう。 ・何回も同じこと言うことがあって、つい怒鳴っちゃうことがある。 ・どのように変わったのかな。 ・「安楽死」という紙を見つけたことじゃないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃お年寄りとかかわっている自分たちの気持ちを共有する。 ・学習カードに記入した後、グループで話し合わせ、全体で発表させる。 ・自分の経験を語り合っているグループがあれば発表を促し、介護・福祉の課題として捉えられるようにする。 ・「私」の気持ちが変わっていくことを知らせ、後半を読む。 ・「私」が変わることになった、一番大きな出来事に着目させ 	<p>5</p>	<p>学習カード</p>
<p>4 「心臓が破裂するような衝撃」を受けた理由を考えよう。</p>	<p>私が「安楽死」という紙を見つけ「心臓が破裂するような衝撃」を受けたのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曾祖父が書いた「安楽死」という紙を見つけたから。 ・曾祖父母の笑顔と優しい言葉が何よりも「私」の力とがんばる勇気を与えてくれていたから。 ・人の世話になるのではなく、元気で輝いた自分でい続けたい。誰かの役に立っていたいという気持ちに気づいたから。 ・誰よりも家族の幸せを祈り大切に思っていたことに気づいたから。 ・家族の大変さを思い、自分の死を願ってまでも、家族の幸せを考えていた曾祖父の気持ちに気づいたから。 ・自分や家族に対する曾祖父の思いの深さに気づいたから。 ・「私」の、動けないから代わりに何でもしてあげよう、という考えは優しさでも思いやりでもない。一人の人間として認めてあげること、伝えることのできない心の声に耳を傾けることが一番大切だということに気づいたのだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「安楽死」という紙に、なぜ衝撃を受けたのか問い、学習カードへの記入を促す。 ・グループで自分の考えたことをたくさん出し合うことを促す。 ・友だちの話を聞いて自分が考えたことを学習カードに書くよう指示する。 ・グループでの話し合いの様子を全体で共有しながら、「私」が受けた衝撃の大きさと相手の心の声に耳を傾けることの大切さに共感していく。 <p>お年寄りと共に生きることは何かをしてあげるだけでなく、相手の人格を尊重し、支え合って生きることということに気づいたか。(学習カード・発言)</p>	<p>20</p>	<p>学習カード</p>

ま と め	5 本時の学習を振り返り、交流へ意識をつなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・何かをしてあげるだけではだめだと思う。 ・その人が何を願っているのか考えながら接したい。 ・ちゃんと心の声に耳を傾けることが大切。 ・お年寄りに感謝し、一緒に何かをして活躍してもらいたい。 ・お年寄りの人たちはどんなふう生きてきたのか知りたい。 ・何回でも、お年寄りの話を聞いてあげたいな。 ・自分の知らないことを教えてほしい。 ・自分たちのことも、もっと知ってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「お年寄りと共に生きる」ことについて、学習したことから振り返ることができるよう発表の場を設ける。 ・交流活動に結び付けた意見には、「どんな気持ちで接したいと思いますか。」「どんなことをお年寄りは心から喜んでくれるのかな。」等問い返し、お年寄りにとって何がうれしいのかについても考え合いたい。 	10	学習カード
-------------	--------------------------	---	---	----	-------

「最後まで輝いて…」学習カード(例)

年 組 番 氏名

資料『最後まで輝いて…』を読んで「お年寄りと共に生きる」とはどうすることか考えよう

1

「私」が、曾祖父に対していつも憤りを感じていたことをあなたはどのように思いますか

2

「私」が曾祖父の枕の下に安楽死と書かれた紙を見つけ、「心臓が破裂するような衝撃を受けた」のはなぜですか。グループの人と話をして考えたことを書きましょう。

私はこう思う

〇〇さんの話を聞いてこう思った。こう考えた

3

「お年寄りと共に生きる」ことについて、振り返ろう